

# “彩の国ビジネスアリーナ2019” に SJAC コーナーを出展

国際航空宇宙展2021（JA2021）の開催告知、出展者誘致のため、「彩の国ビジネスアリーナ2019」にSJACコーナーを出展・参加したので紹介する。

## 1. 彩の国ビジネスアリーナ2019の概況

### (1) 開催概要

開催日時：2019年1月30日（水）

10：00～18：00

2019年1月31日（木）

10：00～17：00

開催場所：さいたまスーパーアリーナ  
（埼玉県・さいたま市）

主催者：埼玉県／公益財団法人埼玉県産業振興公社、他

出展規模：614企業・団体 772小間

2018年実績 660企業・団体 819小間

2017年実績 653企業・団体 815小間

2016年実績 642企業・団体 845小間

また、今回の来場者数（主催者発表）及び今までの推移を以下に示す。

	2019年	2018年	2017年	2016年
1日目	8,918	8,816	8,787	8,956
2日目	8,274	8,340	8,355	8,277
来場者計	17,192	17,156	17,142	17,233

### (2) 展示会の概況

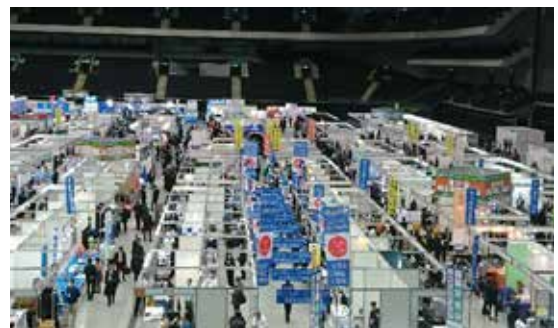
会場は、さいたま新都心にある、“さいたまスーパーアリーナ”を展示会場として開催された。

この展示会は、“中小企業の受注確保・販路開拓、技術力向上を促進するため、広域的な企業間連携等による新たなビジネスチャンス創出の場を提供する”ことを目的とした展示商談会であり、埼玉県の中小企業を中心とした多数が出展していた。

展示内容は、製品、加工技術・部品、ITソリューション、IoT・AI、市町村商工会等連携出展、エネルギー・環境、次世代産業、グローバルビジネス、産学連携、その他支援機関・物流等の多岐にわたっていた。

また、グローバルゾーンには、昨年を引き続き、台湾、ベトナム、タイの企業、団体、機関が出展し、海外展開に取り組む企業とのビジネスマッチングの機会を提供していた。

航空宇宙関連の企業・団体は“先端産業／航空・宇宙産業ゾーン”に出展、SJAC会員企



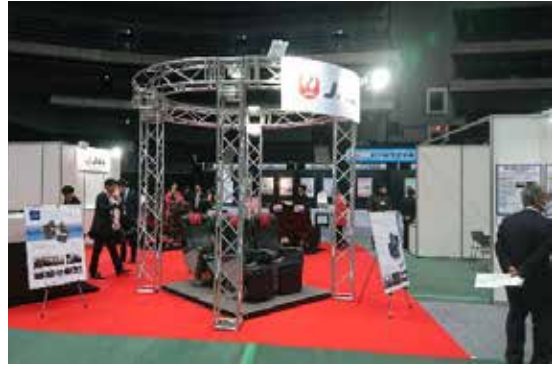
彩の国ビジネスアリーナ  
展示会場全景



グローバルゾーン

業からは、株式会社IHI殿、及び日本航空株式会社殿の2社が出展、株式会社IHI殿は、V2500ターボファンエンジン、CF34ターボファンエンジンのファンモジュール、低圧圧縮機ブリスク動翼などの実物の展示、また、今年、埼玉県鶴ヶ島に開設される民間エンジンの整備拠点となる新たな工場についての説明パネルなどが展示されていた。初日の午後には上田埼玉県知事による視察も行われた。

日本航空株式会社殿は、国際線エコノミー、プレミアムエコノミー、ビジネスの各クラスの座席と国内線Jクラスの座席を展示していた。



座席の展示（JAL）



PW1100G-JMターボファンエンジン  
ファンモジュール（IHI）



ご視察中の上田埼玉県知事（IHI）



V2500ターボファンエンジン（IHI）

先端産業／航空・宇宙産業ゾーンには上記のSJAC会員企業の他、埼玉県に関連した航空宇宙関連の企業が出展すると共に、公益財団

法人埼玉県産業振興公社を中心とした埼玉県の航空クラスター企業による一貫生産試作品の展示があった。

また、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）（相模原）も出展、小惑星探査機“はやぶさ”で開発された電力制御技術を民間転用した製品のデモンストレーションを実施していた。

## 2. SJACの活動概況

SJACは、“先端産業／航空・宇宙産業ゾーン”において次回の国際航空宇宙展（JA2021）の開催告知を行うと共に、出展者誘致に焦点を当てたPR活動を実施した。

SJACコーナーには、昨年のJA2018 TOKYOに出展された企業関係者、航空宇宙産業に興味を持った来場者などの来訪があり、これらの方々に対するJA2021に関する開催告知・説明を行うことができた。



SJAC展示コーナー

## 3. 所感

本展示会は、埼玉県を中心とした600を超える企業・団体が出展する、規模の大きな展示会であり、盛況であった。

展示内容は“航空宇宙”にテーマを絞ったものではなく、埼玉県をキーワードとした多種の産業に関する産業展であるため、航空宇宙関連産業以外の方の来訪も多く、これらの来訪者に対して、次回のJA2021という航空宇宙にテーマを絞った展示会の存在を知ってもらう良い機会となった。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展事務局 部長 長井 利幸〕